

観世流 福岡能

KANZE style (noh)
Fukuoka Noh

舞囃子 野宮 武富 昭
舞囃子 天鼓 松田美栄子
能 融 今村嘉太郎



2016年11月13日[日]

時間: 午後1時開演

場所: 大濠公園能楽堂 福岡市中央区大濠公園1-5
☎ 092-715-2155

料金: 全席自由席 5,000円・当日券 6,000円

チケット取り扱い: 大濠公園能楽堂・各出演者

主催: 観世流 福岡能

※場内での撮影・録画などは固くお断り致します。場内では、時計のアラーム、携帯電話の電源はお切り下さいますようお願い申し上げます。

仕舞

嵐山 木月 晶子
 采女キリ 川原 佳子
 笹之段 菊本 澄代
 殺生石 多久島法子
 老松 坂口 信男
 兼平 多久島利之
 鐘之段 今村 嘉伸
 山姥キリ 山口剛一郎

地謡
 松田美栄子
 長宗 敦子
 今村 宮子
 菊本 美貴

地謡
 井内 政徳
 今村 一夫
 森本 哲郎
 久保誠一郎

舞囃子

野宮 武富 昭
 合掌留 大鼓 白坂 保行
 小鼓 幸 正佳

地謡
 井内 政徳
 久保誠一郎
 多久島利之
 山口剛一郎

地謡
 首 森田 徳和

仕舞

善知鳥 長宗 敦子
 道明寺 今村 宮子
 女郎花 菊本 美貴
 賀茂 今村 一夫
 箴風 井内 政徳
 松風 久保誠一郎
 阿漕 森本 哲郎

地謡
 川原 佳子
 木月 晶子
 菊本 澄代
 多久島法子

地謡
 武富 昭
 山口剛一郎
 坂口 信男
 今村嘉太郎

舞囃子

天鼓

松田美栄子
 大鼓 白坂 保行
 小鼓 幸 正佳

地謡
 木月 晶子
 長宗 敦子
 今村 宮子
 菊本 美貴

能

前シテ(汐波みの老人)
 後シテ(源融の霊)
 今村嘉太郎

大鼓 白坂 信行 大鼓 田中 達
 小鼓 飯富 章宏 笛 森田 徳和

融

正左衛門 江崎正衛門
 六条あたりに住む男 吉住 講

大鼓 白坂 信行 大鼓 田中 達
 小鼓 飯富 章宏 笛 森田 徳和

後見 多久島法子
 坂口 信男

地謡
 井内 政徳 今村 一夫
 武富 昭 多久島利之
 山口剛一郎 今村 嘉伸
 久保誠一郎 森本 哲郎

休憩 20分

能「融」の解説

秋の名月の日。都に上った東国の僧が、六条河原院まで来たところ、ひとりの汐波みの田子を背負った老人が現れます。六条河原で汐波みとは、と訝る僧に、老人は、この河原院はかつて河原左大臣といわれた源融(みなもとのとおる)が、陸奥千賀の塩竈の景色をそのままに移して作って住んだところだと謂れを語るうちに、月が出てあたりを照らし、趣深い秋の夕景色がふたりの眼前に広がります。

庭の景色を眺めつつ、僧と老人がなおも言葉交わします。融は、毎日難波から潮を汲ませて、院の庭で塩を焼かせて二生の楽しみとしたが、後を継ぐ人もなく、この河原院は荒れ果ててしまった。そう嘆く老人を慰めようとしたのか、僧は都の山々の名所を教えてほしいと頼みます。あちこち挙げながら、一緒に仲秋の名月を愛でるうち老人は、つい長話をしたと言つて水を汲む様子を見せた後、姿を消してしまいました。

近くに住む者から、河原院と融の大臣(おとこの)物語を聞いた僧は、先ほどの老人が大の亡霊だったと思ひ当たり、眠りにつきます。すると在りし日の姿で融の亡霊が現れ、月光に照らされながら華麗な遊樂に乗って舞うのでした。融は、時を忘れたかのようにこの月夜に興じていましたが、夜明けとともに、名残惜しい面影を残して、再び月の都へ戻っていきました。



大濠公園能楽堂

福岡市中央区大濠公園1番5号 ☎ 092-715-2155
 《アクセス》地下鉄大濠公園駅または唐人町駅下車徒歩7分。西鉄バス黒門または大濠公園下車徒歩5分。